



大学共同利用機関法人  
人間文化研究機構



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

National Institute for Japanese Language and Linguistics

NINJAL

令和4年11月25日

## 人間文化研究機構国立国語研究所長の選出について

大学共同利用機関法人人間文化研究機構では、国立国語研究所長 田窪 行則 氏の任期が令和5年3月31日で満了することに伴い、選考を行った結果、新所長に国立国語研究所名誉教授 前川 喜久雄 氏を選出しましたのでお知らせします。

なお、新所長は、機構長が令和5年4月1日付けで発令し、任期は4年となります。

### <問い合わせ先>

大学共同利用機関法人人間文化研究機構

事務局総務課長 関 口 隆

直通電話 03(6402)9209

国立国語研究所

管理部総務課長 安 達 昇

直通電話 042(540)4372

## 略 歴

前 川 喜 久 雄  
昭和31年11月5日生

昭和55年3月	上智大学外国語学部卒業
同 57年3月	上智大学大学院外国語学研究科博士前期課程修了
同 59年3月	上智大学大学院外国語学研究科博士後期課程 単位修得退学
平成23年3月	学術博士（東京工業大学大学院情報理工学研究科）
同59年 4月	鳥取大学教育学部助手
同62年 4月	鳥取大学教育学部講師
平成元年 4月	国立国語研究所言語行動研究部研究員
同 4年 4月	国立国語研究所言語行動研究部主任研究官
同 7年 4月	国立国語研究所言語行動研究部第2研究室長
同13年 4月	独立行政法人国立国語研究所研究開発部門第2領域長
同18年 4月	同 国立国語研究所研究開発部門言語資源グループ長
同21年10月	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所言語資源研究系教授、言語資源研究系長、コーパス開発センター長
同25年 4月	同 国立国語研究所 副所長（平成28年3月まで）
同28年 4月	同 国立国語研究所音声言語研究領域教授、コーパス開発センター長（令和2年3月まで）
令和4年 3月	同 国立国語研究所定年退職
同 4年 4月	同 国立国語研究所名誉教授／客員教授（現在に至る）

### ※専門分野

音声学、言語資源

### ※主な研究業績

#### 【著書】

- ・平成25年 A Frequency Dictionary of Japanese. (共著) Routledge
- ・同 25年 『コーパス入門（講座日本語コーパス第1巻）』（監修・編著）朝倉書店
- ・同 26年 『音声は何を伝えているか：感情・パラ言語情報・個人性の音声科学』（音響サイエンスシリーズ12）（共著）コロナ社
- ・同 26年 『書き言葉コーパス：設計と構築（講座日本語コーパス第2巻）』（監修）朝倉書店
- ・同 27年 『話し言葉コーパス：設計と構築（講座日本語コーパス第3巻）』（監修）朝倉書店

#### 【査読論文（学会誌・学術誌）】

- ・平成 元年 “Statistical tests for the study of vowel merger.”（単著） *Quantitative Linguistics*, 39

- ・同 22年 “Coarticulatory reinterpretation of allophonic variation: Corpus-based analysis of /z/ in spontaneous Japanese”. (単著) *Journal of Phonetics*, 38 (3)
- ・同 26年 “Balanced corpus of contemporary written Japanese”. (筆頭著者) *Language Resources And Evaluation* 48
- ・令和 3年 “Aeroacoustic differences between the Japanese fricatives [ç] and [ç].” (共著) *The Journal of the Acoustical Society of America*, 149 (4)
- ・同 3年 “Production of the utterance-final moraic nasal in Japanese: A real-time MRI study.” *Journal of the International Phonetic Association*.

【解説論文・書評・紀要論文・論文集掲載論文】

- ・昭和59年 「秋田方言促音の持続時間－「寸づまり」の実態と成因」(単著) 方言研究年報, 広島方言研究所, 27
- ・平成20年 “Prominence marking in the Japanese intonation system.” In S. Miyagawa and M. Saito (eds.) (共著) *The Oxford Handbook of Japanese Linguistics*, Oxford University Press

※受賞歴

- ・平成23年 日本音声学会優秀論文賞
- ・同 24年 日本音声学会優秀論文賞